

医療法人社団高邦会高木病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお申し出てください。

- ① 研究課題名：異常ヘモグロビンの Hb A2-Niigata の疫学的調査
- ② 研究責任者：伊藤 みか（糖尿病・内分泌内科）
- ③ 他の研究機関および各施設の研究責任者：
 - 古賀正史 ・はくほう会セントラル病院 院長
 - 加藤弘巳 ・JCHO 高岡ふしき病院 名誉院長
 - 高野敦子 ・済生会高岡病院 内科部長
 - 岩田 実 ・糸魚川総合病院 内科部長
 - 村上史峰 ・富山労災病院 糖尿病内分泌科部長
 - 小野恭裕 ・医療法人社団高邦会高木病院 糖尿病・代謝内科部長
 - 村井 潤 ・医療法人川崎病院 糖尿病内分泌内科部長
 - 山城安啓 ・山口大学大学院医学系研究科 教授
- ④ 本研究の目的：異常ヘモグロビンは赤血球のグロビン鎖の異常構造をきたす稀な疾患です。異常ヘモグロビン Hb A2-Niigata は 1991 年新潟県で 3 名の方が発見されてから殆ど報告がありませんでした。しかし、最近富山県で数名の方が診断されており、富山県や新潟県を中心に高頻度に Hb A2-Niigata の方がおられる可能性が考えられました。Hb A2-Niigata では貧血など自覚症状はありませんが、高速液体クロマトグラフィ（HPLC）という方法で測定された HbA1c が本来の値より 1～2% 高くなり、糖尿病の正しい評価ができません。糖尿病ではない異常ヘモグロビンの方に対し、経口血糖降下薬を投与されて低血糖をきたした報告があるため、異常ヘモグロビンを正しく診断する必要があります。血糖値に比較して高い HbA1c を示す場合に、HPLC のクロマトグラム（HbA1c などヘモグロビン分画の信号の強さと時間の変化を記録したもの）をみることで、Hb A2-Niigata かどうかを推測することが可能です。今回富山県を中心に Hb A2-Niigata が疑われる方の人数を調べて、他県と比較する研究を予定しております。
- ⑤ 調査データ該当期間：2021 年 1 月～2024 年 3 月の情報を調査対象とします。
- ⑥ 研究の方法：上記期間内に当院人間ドックで HbA1c を測定された方を対象にします。利用する情報；電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
- ⑦ 試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法：共同研究の施設に今回調査した試料/情報を提供します。提供する試料/情報は匿名化し、個人が特定できない状態の情報のみを提供します。
- ⑧ 個人情報の取り扱い：利用する情報から氏名や住所など患者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
- ⑨ 本研究の資金源（利益相反）：本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
- ⑩ 連絡先：電話 0944-87-0001、担当医師：小野 恭裕（糖尿病代謝内科）